

D ドライブライン／アクスル

RAX リヤアクスル・ドライブシャフト

作業上の注意	2	・車載上の点検	8
・注意	2	・取り外し、取り付け	8
準備品	3	・分解、組み立て	9
・特殊工具	3	リヤドライブシャフト	11
ホイールハブ（2WD）	5	・取り外し、取り付け	11
・車載上の点検	5	・分解、組み立て	12
・取り外し、取り付け	5	サービスデータ	17
・分解、組み立て	6	・ホイールベアリング	17
ホイールハブ（4WD）	8	・締付トルク	17

作業上の注意 注意

PFP:00001

JDS000Q4

ドライブシャフト分解整備時は下記に注意すること。

- できるだけゴミ、ほこりのない場所で作業すること。
- 分解整備を行う前に部品の外側を洗浄すること。
- 分解整備を行う場所を清潔にし、部品を汚したり異物が混入しないようにすること。
- 分解した部品は、確実に順序正しく取り付けること。作業を中断する場合は、部品の上に清潔なカバーをかけておくこと。
- ウエスはペーパーウエスを使用する。布製のウエスを使用すると、糸クズが付着する恐れがあるため使用しないこと。
- 分解した部品（ゴム部品は除く）は白灯油で洗浄し、エアブロー又は、ペーパーウエスを使用し油切りをすること。

準備品

準備品 特殊工具

PFP:00002

JDS000Q5

A

B

C

RAX

E

F

G

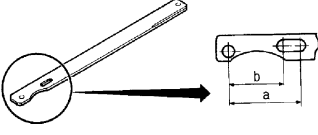
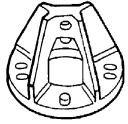
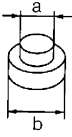
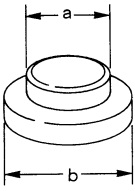
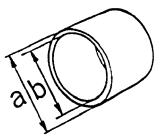
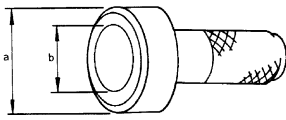
H

I

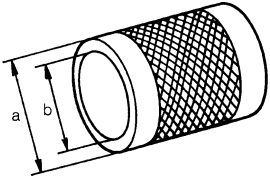
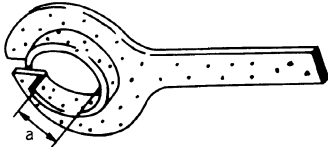
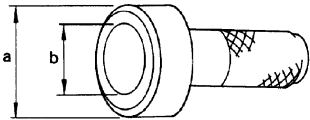
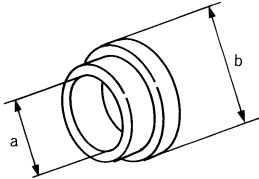
J

K

L

名称		用途
ハブロックナットレンチ KV401 04000 a:85mm b:66mm	 ZZA0802D	ロックナット脱着
スライディングハンマー ST3623 0000	 ZZA0803D	ホイールハブ取り外し
アタッチメント KV401 04100	 ZZA0804D	ホイールハブ取り外し
ドリフト ST3306 1000 a:Φ28.5mm b:Φ38.0mm	 ZZA0969D	ホイールベアリングのアウト側インナーレース取り外し
ドリフト ST1524 2000 b:Φ69mm	 ZZA0881D	ホイールベアリング取り外し
ドリフト KV401 05310 a:Φ75mm b:Φ62mm	 ZZA1003D	ホイールベアリング取り外し ホイールハブ取り付け
ドリフト ST3072 0000 a:Φ77mm b:Φ55.5mm	 ZZA0811D	ホイールベアリング取り外し

準備品

名称		用途
ドリフト ST3320 0000 a: $\phi 60\text{mm}$ b: $\phi 44.5\text{mm}$	 ZZA1002D	ホイールハブ取り付け
プロテクター KV381 07800 a: $\phi 29\text{mm}$	 ZZA0835D	ドライブシャフト取り付け
ドリフト KV381 00500 a: $\phi 80\text{mm}$ b: $\phi 60\text{mm}$	 ZZA0701D	センターローター取り付け
カラー KV401 01840 a: $\phi 67\text{mm}$ b: $\phi 85\text{mm}$	 ZZA1113D	センターローター取り付け

ホイールハブ (2WD)

PFP:43202

車載上の点検

JDS000Q6

リヤアクスルに異常な遊び、割れ、摩耗やその他損傷がないことを点検する。

- ・ リヤホイール (左右) を動かし、遊びを点検する。

リヤホイールベアリング

リフトアップなどの状態で、次の点検を行う。

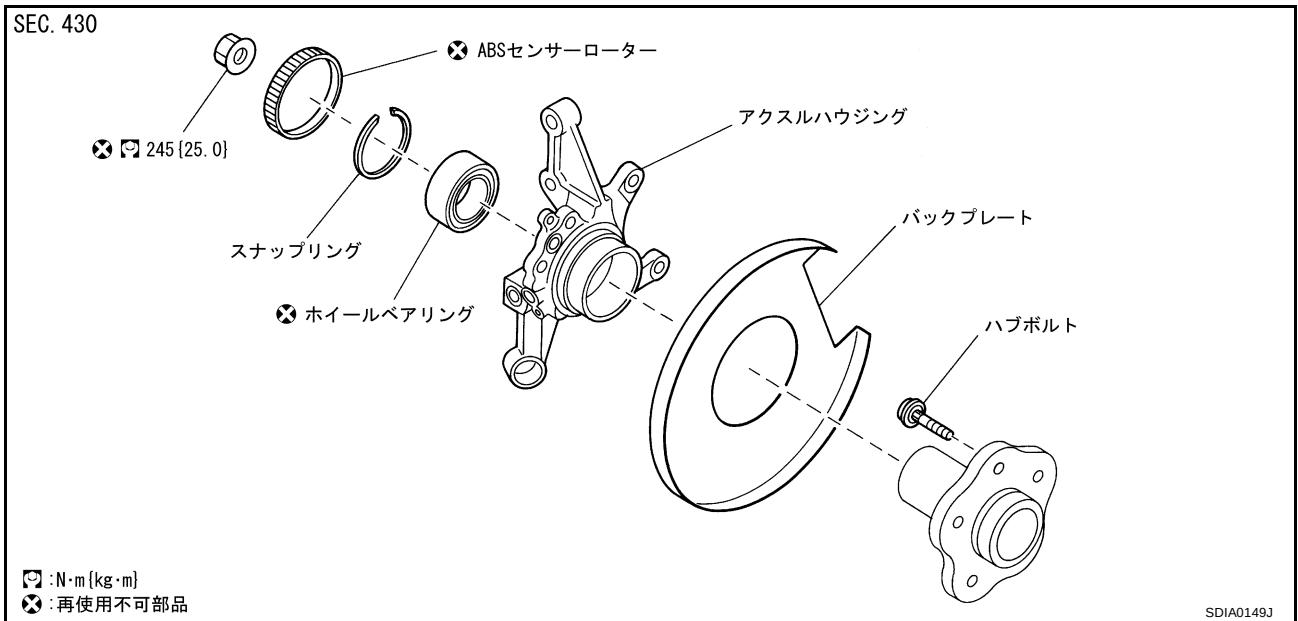
- ・ ホイールハブを手で軸方向に動かし、リヤホイールベアリングにガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0.05 mm 以下

- ・ ホイールを回転させて異音がないかを点検する。異常のある場合は、ホイールベアリングを交換する。
- ・ 点検して異常のある場合は、ボールベアリングを交換する。

取り外し、取り付け

JDS000Q7



取り外し

1. タイヤを外し、ハブロックナットレンチ (特殊工具) をセットし、ホイールロックナット及び ABS センサーローターを取り外す。
注意: ハブロックナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
2. ブレーキキャリパーをアクスルハウジングより取り外し吊るしておく。
注意: ブレーキキャリパーを取り外している間はブレーキペダルを踏み込まないこと。
3. ディスクローター、パーキングブレーキ ASSY をバックプレート及びアクスルハウジングより取り外す。
4. アクスルハウジングより ABS 車輪回転センサーを取り外す。
5. アクスルハウジングをストラットより取り外す。
6. ラジアスロッドのアクスルハウジング側取付ボルト及びナットを取り外す。
7. フロント及びリヤパラレルリンクのアクスルハウジング側取付ボルト及びナットを外し、アクスルハウジングを車両より取り外す。

取り付け

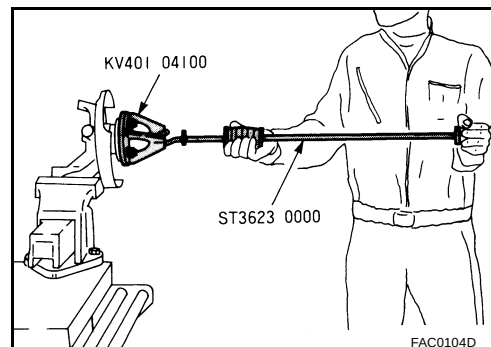
- ・ 各締付トルク等については構成図を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

分解、組み立て

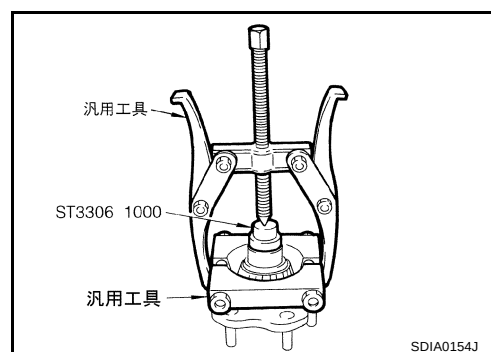
JDS000Q8

分解

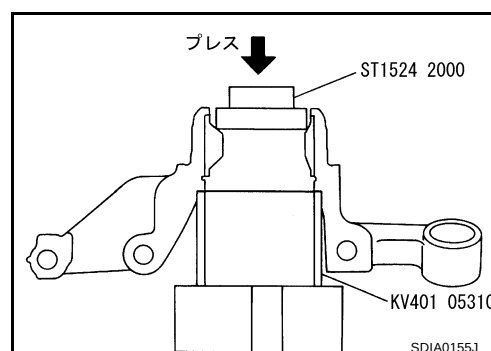
1. アクスルハウジングを万力にセットし、図のようにアタッチメント（特殊工具）及びスライディングハンマー（特殊工具）を用いて、アクスルハウジングよりホイールハブを取り外す。



2. ベアリングリプラー（汎用工具）、プーラー（汎用工具）及びアダプター（特殊工具）を用いて、ホイールハブよりアウター側のベアリングインナーレースを取り外す。
3. バックプレートの取付ボルト及びアンカーブロックを外し、アクスルハウジングよりバックプレートを取り外す。
4. マイナスドライバー等を用いて、スナップリングを取り外す。



5. ドリフト（特殊工具）を用いて、ホイールベアリングをアクスルハウジングより取り外す。



分解後の点検

ホイールハブ

- ・ホイールハブに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

アクスルハウジング

- ・アクスルハウジングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

スナップリング

- ・スナップリングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

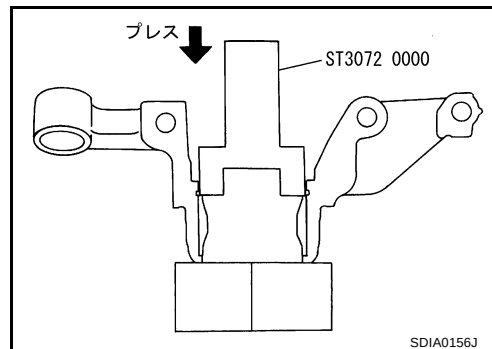
ホイールハブ (2WD)

組み立て

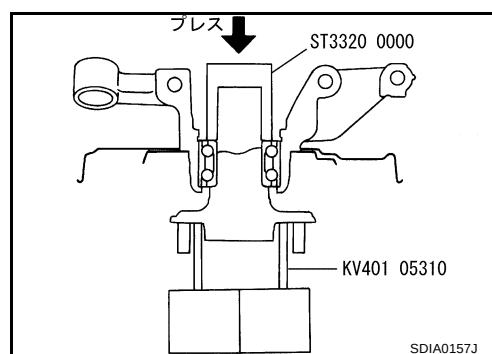
1. ドリフト (特殊工具) を用いて、アクスルハウジングにホイールベアリングを圧入する。

注意: ホイールベアリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. マイナスドライバー等を用いて、スナップリングを取り付ける。
3. バックプレート及びアンカーブロックをアクスルハウジングに取り付ける。



4. ドリフト (特殊工具) を用いて、アクスルハウジングにホイールハブを取り付ける。
5. 手順4の状態からさらに荷重を 34300 ~ 49000N {3500 ~ 5000kg} を加えた後、アクスルハウジングを正逆方向になじみ回転を 10 回転行う。



6. ストラットと締結部分 (アッパー側ボルト穴) にバネ秤をかけ、 10 ± 2 rpm の速度でバネ秤を引っ張った時の回転トルクを測定する。[「ホイールベアリング」\(RAX-17 ページ\)](#) の項参照。

回転トルク : 1.96 N·m (0.200kg·m) 以下

バネ秤測定値 : 12.8 N (1.30 kg) 以下

参考: 34300 ~ 49000N {3500 ~ 5000kgf} の荷重をかけられない場合

- ホイールハブロックナットを規定トルクで締め付け、正逆方向になじみ回転を各 10 回行う。
- 回転速度 10 ± 2 rpm にてハブボルトにバネ秤をかけ回転トルクを測定する。

回転トルク : 1.126 N·m (0.115kg·m) 以下

バネ秤測定値 : 19.70 N (2.01 kg) 以下

ホイールハブ（4WD）

PF0:43202

車載上の点検

JDS000Q9

リヤアクスルに異常な遊び、割れ、摩耗やその他損傷がないことを点検する。

- ・ リヤホイール（左右）を動かし、遊びを点検する。

リヤホイールベアリング

リフトアップなどの状態で、次の点検を行う。

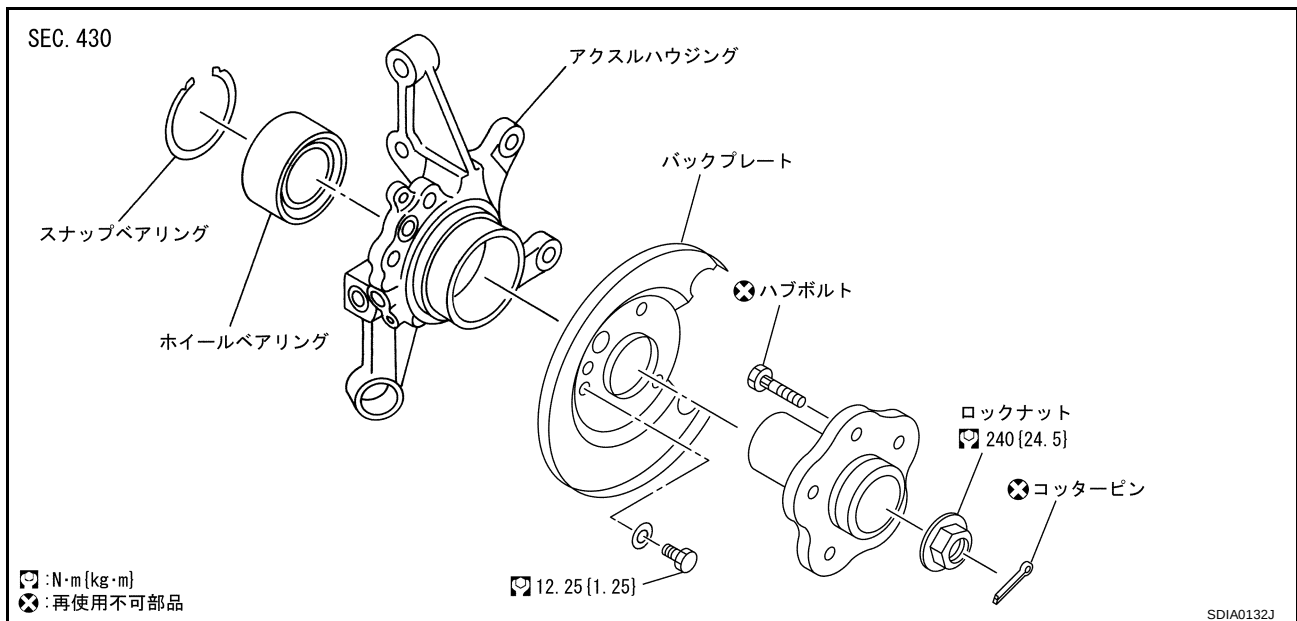
- ・ ホイールハブを手で軸方向に動かし、リヤホイールベアリングにガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0.05 mm 以下

- ・ ホイールを回転させて異音がないかを点検する。異常のある場合は、ホイールベアリングを交換する。
- ・ 点検して異常のある場合は、ボールベアリングを交換する。

取り外し、取り付け

JDS000QA



取り外し

1. タイヤを外し、ハブロックナットレンチ（特殊工具）をセットし、ロックナット取り外す。
注意： ハブロックナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
2. ブレーキキャリパーをアクスルハウジングより取り外し吊るしておく。
注意： ブレーキキャリパーを取り外している間はブレーキペダルを踏み込まないこと。
3. ディスクローター、パーキングブレーキ ASSY をバックプレート及びアクスルハウジングより取り外す。
4. アクスルハウジングより ABS 車輪回転センサーを取り外す。
5. アクスルハウジングをストラットより取り外す。
6. ラジアスロッドのアクスルハウジング側取付ボルト及びナットを取り外す。
7. フロント及びリヤパラレルリンクのアクスルハウジング側取付ボルト及びナットを外し、アクスルハウジングを車両より取り外す。

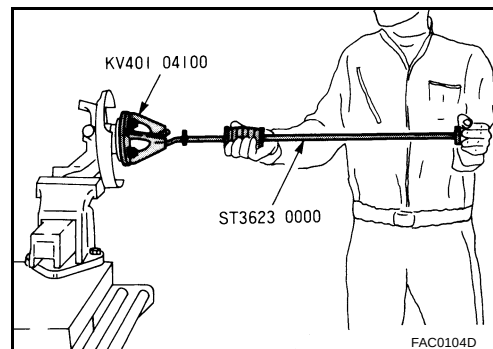
取り付け

- ・ 各締付トルク等については構成図を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

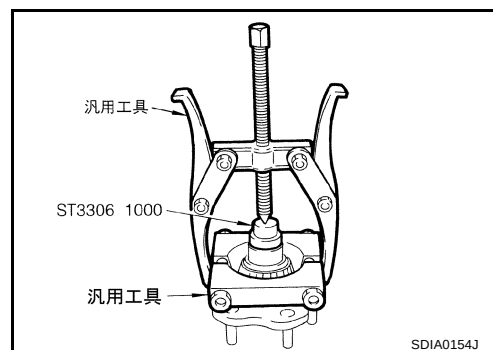
分解、組み立て

分解

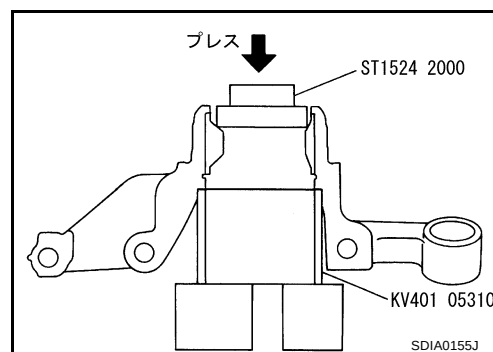
1. アクスルハウジングを万力にセットし、図のようにアタッチメント（特殊工具）及びスライディングハンマー（特殊工具）を用いて、アクスルハウジングよりホイールハブを取り外す。



2. ベアリングリプレサー（汎用工具）、プーラー（汎用工具）及びアダプター（特殊工具）を用いて、ホイールハブよりアウター側のベアリングインナーレースを取り外す。
3. バックプレートの取付ボルト及びアンカーブロックを外し、アクスルハウジングよりバックプレートを取り外す。
4. マイナスドライバー等を用いて、スナップリングを取り外す。



5. ドリフト（特殊工具）を用いて、ホイールベアリングをアクスルハウジングより取り外す。



分解後の点検

ホイールハブ

- ・ホイールハブに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

アクスルハウジング

- ・アクスルハウジングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

スナップリング

- ・スナップリングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

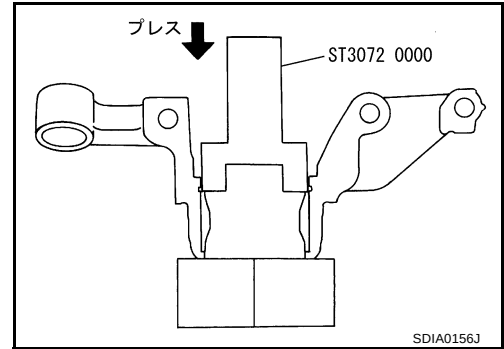
ホイールハブ（4WD）

組み立て

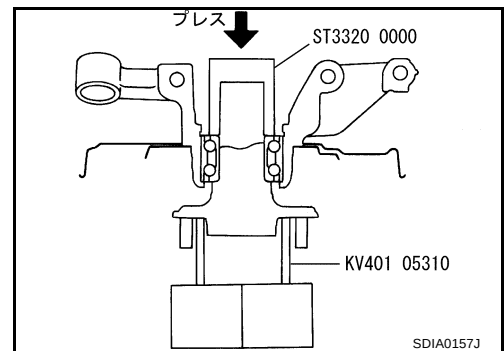
- ドリフト（特殊工具）を用いて、アクスルハウジングにホイールベアリングを圧入する。

注意： ホイールベアリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

- マイナスドライバー等を用いて、スナップリングを取り付ける。
- バックプレート及びアンカーブロックをアクスルハウジングに取り付ける。



- ドリフト（特殊工具）を用いて、アクスルハウジングにホイールハブを取り付ける。
- 手順4の状態からさらに荷重を 34300 ～ 49000N {3500 ～ 5000kg} を加えた後、アクスルハウジングを正逆方向になじみ回転を 10 回転行う。



- ストラットと締結部分（アッパー側ボルト穴）にバネ秤をかけ、 $10 \pm 2\text{rpm}$ の速度でバネ秤を引っ張った時の回転トルクを測定する。[「ホイールベアリング」\(RAX-17 ページ\)](#) の項参照のこと。

回転トルク : 1.96 N・m (0.200kg・m) 以下

バネ秤測定値 : 12.8 N (1.30 kg) 以下

参考：34300 ～ 49000N {3500 ～ 5000kg} の荷重をかけられない場合

- ドライブシャフトを組み付けホイールハブロックナットを規定トルクで締め付け、正逆方向になじみを各10回行う。
- 回転速度 $10 \pm 2\text{rpm}$ にてハブボルトにバネ秤をかけ回転トルクを測定する。

回転トルク : 1.126N・m{0.115kgf・m}

バネ秤の測定値 : 19.70N・m {2.01kgf}

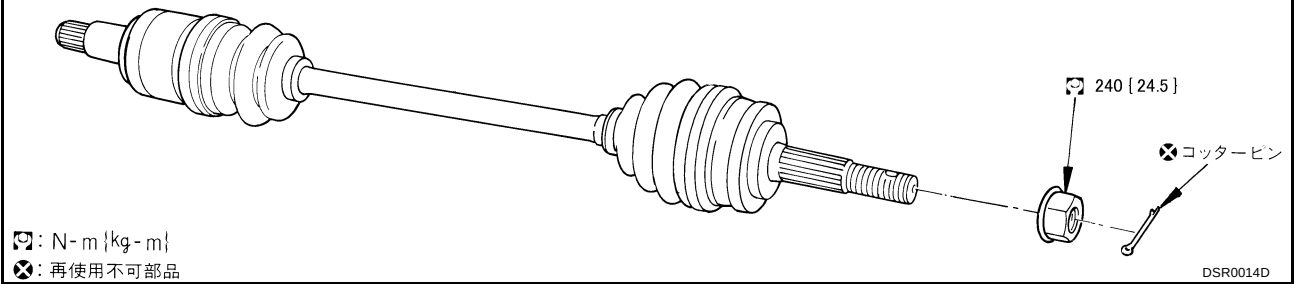
リヤドライブシャフト

PFP:39600

取り外し、取り付け

JDS000QC

SEC.396



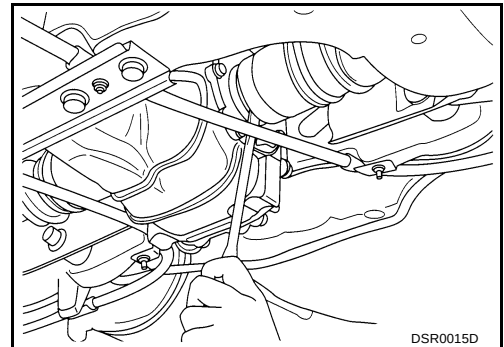
取り外し

1. リヤアクスルを取り外す。

「ホイールハブ (4WD)」 [「取り外し」 \(RAX-5 ページ\)](#) を参照のこと。

参考: リヤドライブシャフト ASSY 取り外しのためにリヤアクスルを取り外す際は、フロント及びリヤ平行リンクのアクスル側は、緩めるだけで外さずに作業を行うと、作業終了後のホイールアライメントの点検調整が容易である。

2. 図のようにホイールレンチ等を用いて、ドライブシャフトをファイナルドライブより取り外す。



取り外し後の点検

- ・ ジョイント部を上下、左右、軸方向に動かし、不円滑な作動、著しいガタがないことを点検する。
- ・ ブーツのき裂、損傷及びグリース漏れがないことを点検する。

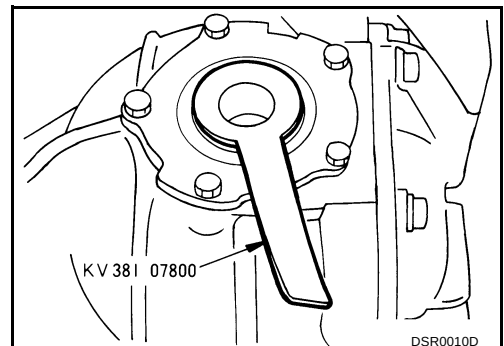
取り付け

1. ファイナルドライブのサイドオイルシール損傷防止のため、オイルシール部にプロテクター (特殊工具) を取り付けからドライブシャフトを挿入し、ドライブシャフトのスライドジョイントをスライドさせ、ハンマーリングの要領で確実に取り付ける。

注意: サークリップが確実に結合されたことを確認すること。

2. リヤアクスルを取り付ける。

「ホイールハブ (4WD)」 [「取り付け」 \(RAX-8 ページ\)](#) を参照のこと。



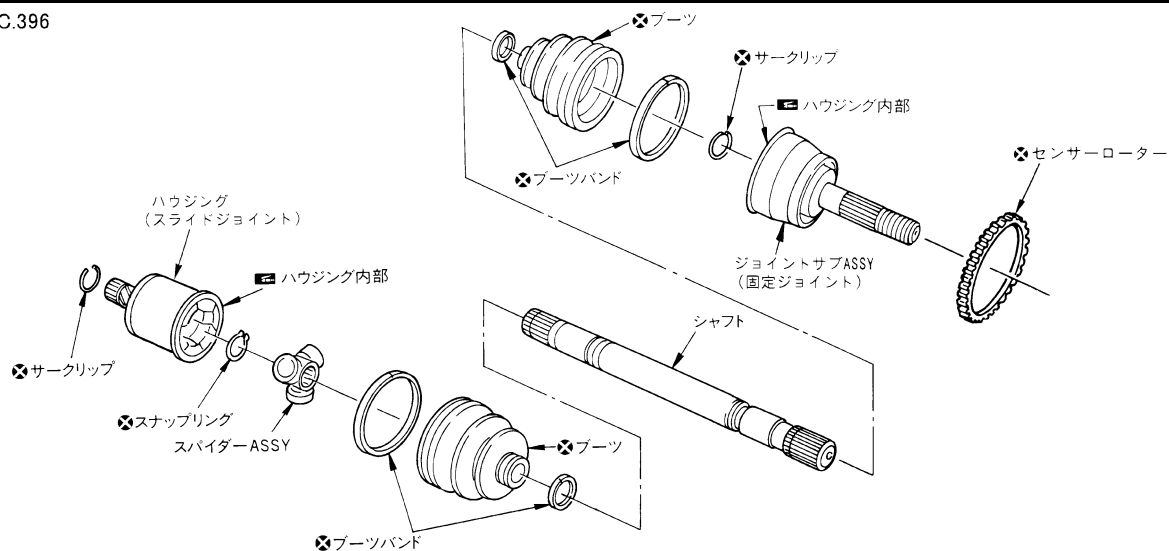
リヤドライブシャフト

分解、組み立て

JDS000QD

分解

SEC.396



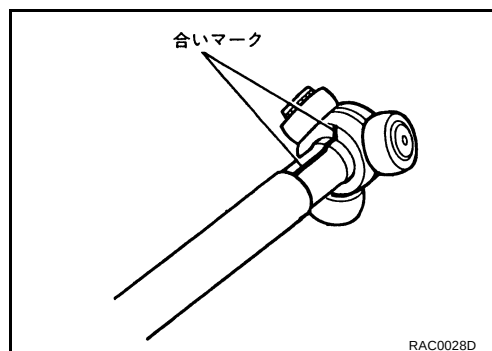
⊗: 再使用不可部品

■: 日産純正指定グリス (パーツカタログ参照)

DSR0016D

ファイナルドライブ側

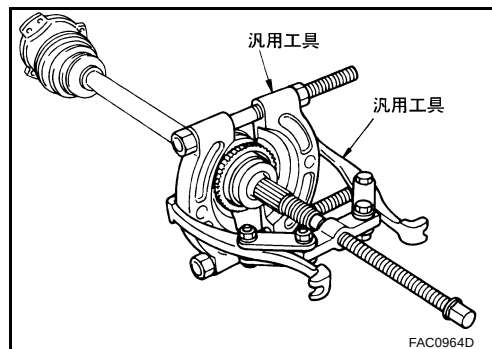
1. ブーツバンドを取り外す。
2. シャフトを万力に固定する。
注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミ板等を介して固定すること。
3. シャフトとスパイダー ASSY に合いマークを付ける。
注意: 合いマークは、ペイント等を使用し、傷は付けないこと。
4. スナップリングを取り外し、スパイダー ASSY をシャフトより抜き取る。
5. ブーツをシャフトより取り外す。



RAC0028D

ホイール側

1. 図のように、ベアリングリプレーサー (汎用工具) 及びプーラー (汎用工具) を用いて、センサーローターをドライブシャフトより取り外す。
2. シャフトを万力で固定する。
注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミ板等を介して固定すること。
3. ブーツバンドを外し、ブーツをジョイントサブ ASSY より取り外す。



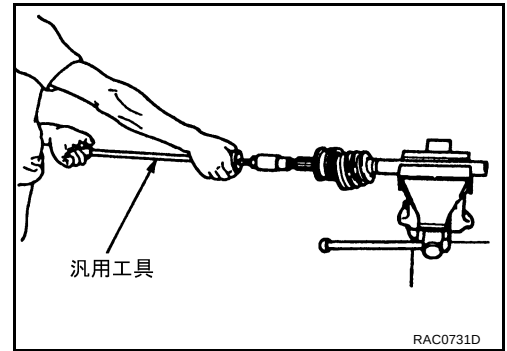
FAC0964D

リヤドライブシャフト

4. ドライブシャフトプーラー（汎用工具）をジョイントサブ ASSY のネジ部に 30mm 以上ねじ込み、ジョイントサブ ASSY をシャフトより抜き取る。

注意： ジョイントサブ ASSY の抜き取り作業を 5 回以上行って外れない場合は、ドライブシャフト ASSY で交換すること。

5. ブーツをシャフトより取り外す。
6. サークリップをシャフトより取り外す。
7. 古いグリースを除去する。



分解後の点検

シャフト

- ・ シャフト部に振れ、き裂及び損傷があればシャフトを交換する。

ブーツ及びブーツバンド

- ・ ブーツにき裂があれば交換する。
- ・ ブーツバンドは、一度外したら新品と交換する。

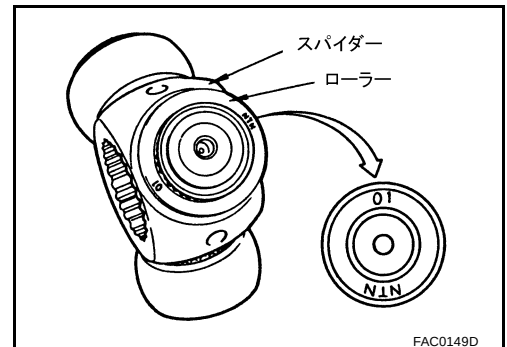
ジョイントサブ ASSY（固定ジョイント）

- ・ ジョイントの回転具合、軸方向の異常なガタがないか。
- ・ ジョイント内部の異物混入がないか。

注意： ジョイント ASSY の構成部品に異常がある場合、ジョイント ASSY で交換する。

ジョイント ASSY（スライドジョイント）

- ・ハウジングのローラー接触面に傷、摩耗がある場合、スパイダーのローラー面に傷、摩耗がある場合は、ハウジング及びスパイダー ASSY を交換する。
- ・スパイダーのローラーに円周方向のガタ、回転ムラがある場合は、スパイダー ASSY を交換する。
- ・スパイダー ASSY の交換は、図のようにローラーに打刻された刻印番号と同じ部品を下記から選択し、組み付ける。
- ・ジョイント ASSY の構成部品に異常がある場合、ジョイント ASSY で交換する。
- ・ハウジング交換等は、セット部品としてスパイダー ASSY も含まれる。



刻印番号	部品番号	型式
00	39720 2U610	T58C
01	39720 2U611	
02	39720 2U612	
03	39720 2U613	
04	39720 2U614	
05	39720 2U615	
06	39720 2U616	

ハウジング（スライドジョイント）

- ・ボール転動面に損傷、異常摩耗がないか。
- ・シャフトのネジ部に損傷がないか。
- ・ブーツ取付部に変形がないか。

ボールケージ

- ・しゅう動面に損傷、異常がないか。

リヤドライブシャフト

スチールボール

- ・ 損傷、異常摩耗がないか。

インナーケース

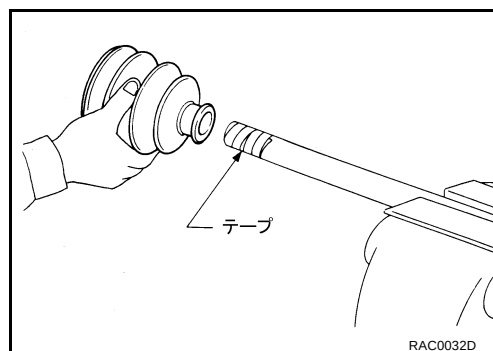
- ・ ボール転動面に損傷、異常がないか。
- ・ セレクション部に損傷がないか。

組み立て

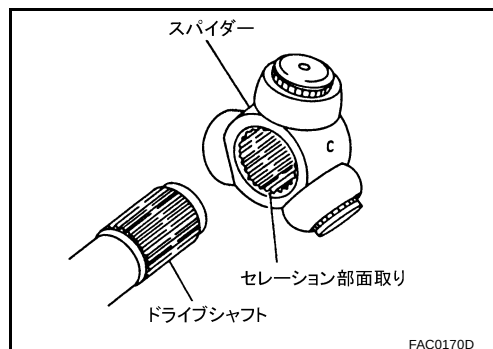
ファイナルドライブ側

1. ドライブシャフトのセレクション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、ブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意： ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



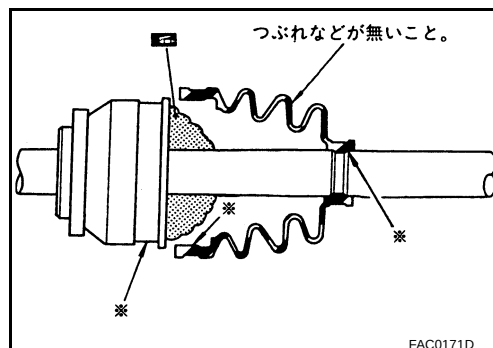
2. シャフトのセレクション部に巻いたテープを外す。
 3. スパイダー ASSY を取り外したときに付けた合いマークに合わせ、セレクション部の面取りがドライブシャフト内方向となるように取り付ける。
 4. スパイダー ASSY をスナップリングで固定する。
- 注意：** スナップリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
5. 日産純正指定グリス（パーツカタログ参照）をスパイダー ASSY 及びしゅう動部に塗布する。
 6. ハウジングをスパイダー ASSY に組み付け、残りのグリスを下記容量まで充てんする。



グリス量 : 45±5 g

7. ブーツを図の溝部（※部）へ確実に取り付ける。

注意： ジョイントのブーツ取付面（※部）にグリスが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリスは除去すること。

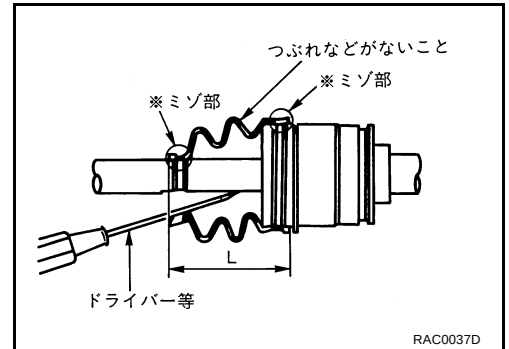


リヤドライブシャフト

8. ブーツの長さ (L) が下記寸法であることを確認し、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内のエアを抜き、ブーツの変形を防止する。

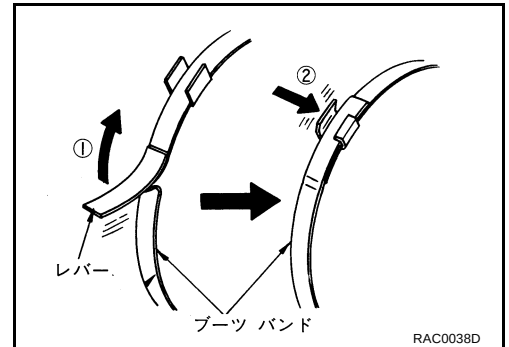
ブーツ取付長さ : 79.6±1 mm

注意：・ブーツ取付長さが基準値を下回るとブーツ破れの原因となる。
・ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。



9. ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。

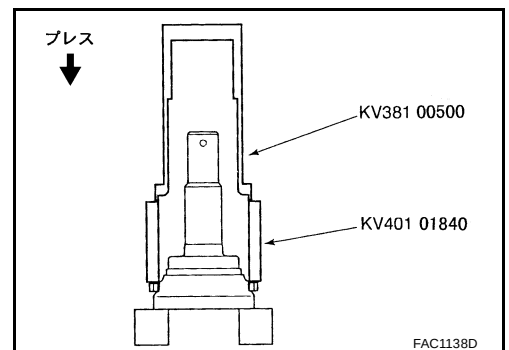
注意：ハウジングを回してブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付けること。



ホイール側

1. ドリフト (特殊工具) を用いて、ジョイントサブ ASSY にセンサーローターを圧入する。

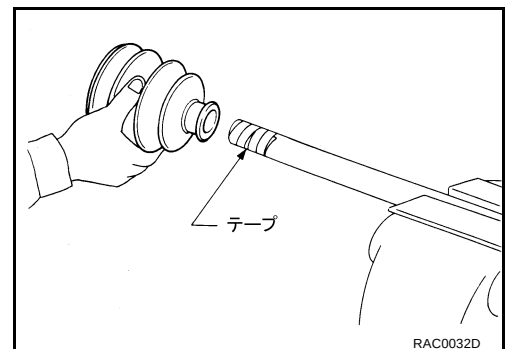
注意：センサーローターは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



2. ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、ブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意：ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

3. シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。



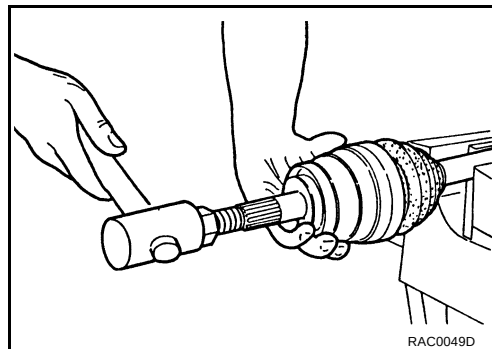
リヤドライブシャフト

4. シャフトにサークリップを取り付ける。このときサークリップがシャフト溝部に確実に入っていること。ジョイントサブ ASSY にナットを付け、木ハンマーでシャフトに圧入する。

注意：サークリップは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

5. ブーツの大径側からハウジング内に日産純正指定グリース（パーツカタログ参照）を下記容量まで充てんする。

グリース量 $: 40 \pm 5 \text{ g}$

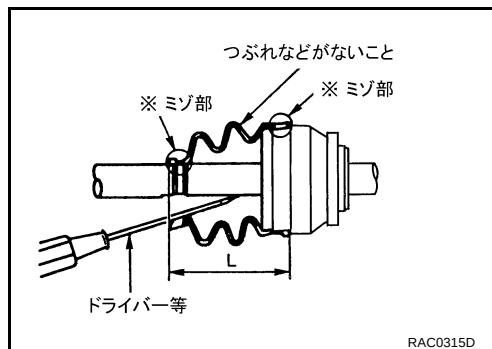


6. ブーツを図の溝部（※印部）へ確実に取り付ける。

注意：ジョイントサブ ASSY のブーツ取付面（※印部）にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリースは除去すること。

7. ブーツの長さ（L）が下記寸法であることを確認し、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内のエアを抜き、ブーツの変形を防止する。

ブーツ取付長さ $: 67.7 \pm 1 \text{ mm}$

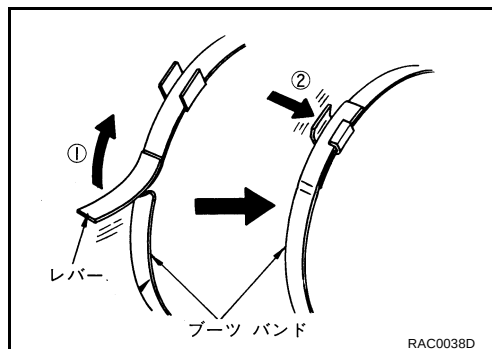


注意：・ブーツ取り付け長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。

・ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。

8. ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。

注意：ジョイントを回してブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付けること。



サービスデータ

サービスデータ ホイールベアリング

PFP:00030

JDS000QE

A

B

C

RAX

E

F

G

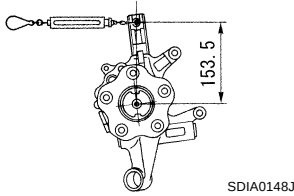
H

I

J

K

L

駆動方式	2WD	4WD
回転トルク	1.96N・m {0.200kg・m}	1.96N・m 以下 {0.200kg・m 以下}
バネ秤の測定値	12.8N 以下 {1.30kg 以下}	12.8N 以下 {1.30kg 以下}
バネ秤取付位置		
軸方向エンドプレー	0.05mm 以下	

締付トルク

JDS000QF

単位：N・m{kg・m}

ホイールハブロックナット	2WD	245{25.0}
	4WD	240{24.5}

